

地区総合防災訓練が行われました

～災害への備え～

10月24日(日)旧荏原第二中学校において、荏原第三地区総合防災訓練が行われました。秋晴れのもと、町会ごとに集合し、のぼり旗を先頭に中央会場に集まった方が1,062名。

当日は3班に分かれ、応急救護で三角巾の扱い方を練習したり、起震車による地震の体験を行い、消火訓練では消火器の扱い方を習ったりしました。



また、今回は3年ぶりに行われることになりました、各町会のミニポンプ隊、区民消火隊の放水訓練を行いました。参加町会は、この日のために訓練を重ねての参加でした。



▲ミニポンプ隊の放水訓練風景

各町会の紹介のあと、指揮者が力いっぱい手を上げ号令をかけます。待機していた3名の隊員が練習の成果を発揮し、手早く確実にホースをポンプにつなげます。7～8mあるホースを出火元に投げ、ポンプを稼働させて、出火元である校舎に勢いよく放水しました。

最後には、荏原消防団 第六分団による放水が披露され、見学していた町会の皆さんも大きな拍手で訓練を見守っていただきました。

当日は、秋晴れで少し肌寒い日ではありましたが、多くの方に参加していただき、各町会・地域で、防災に対する意識の高さや感心度がうかがえました。

昨今は、多くの自然災害が発生している現状の中で、来年はより現実に沿ったものを考え、もっと多くの方々に参加していただけるよう取り組んでいきたいと思いました。

参加していただいた皆様、お疲れ様でした。荏原消防署の皆さん、水道局の皆さん、荏原医師会・薬剤師会の皆さん、ご苦労様でした。